

みいな

2008. 3. 20

VOL.11



みんなで いっしょに なかよく

那須塩原市男女共同参画推進条例

6つの基本理念

- ① 男女の人権の尊重
- ② 社会における制度又は慣行についての配慮
- ③ 方針の立案及び決定への共同参画
- ④ 家庭生活における活動と他の活動の両立
- ⑤ 男女の生涯にわたる健康の確保
- ⑥ 国際社会の動向を踏まえた取り組み

みんな、輝いています!!

「那須郡市医師会立黒磯准看護学院」(黒磯幸町)に通う2年生の青年たち

- ① 入学した動機
- ② 将来めざすもの



渡辺 博さん

- ① 別の職に就いていましたが、人に接することが好きなこと、年齢や将来的なことを考えたからです。
- ② 患者さんと信頼関係が持てるような看護師になりたいです。



手塚 靖史さん

- ① 病院で看護助手をしていて、仕事の幅を広げたいと思ったからです。
- ② 患者さんに気軽に話してもらえよう看護師になりたいです。特に明るくあいさつをするように気がついています。

変身~!



はよし よしあみ
羽吉 克臣さん

- ① 母が准看護師で、小さい頃から母の人との接し方を見ていて「いいな」と思っていました。別な職業の勉強で病院実習をした際、看護師になりたいと思ったので入学しました。
- ② どんな患者さんにも分け隔てなく接することができる看護師になりたいです。患者さんの話をよく聞いて不安を取り除いてあげたいです。



はた だ きよたか
富田 聖貴さん

- ① 小中高とサッカー部でしたが、怪我が多かったため、高校の時にマネージャーになりました。その時に選手たちの世話をするのが楽しく感じたので看護助手の仕事を選びましたが、もっと上を目指したいと思ったので入学しました。
- ② 患者さんが入院生活しやすい環境を作りたいと思います。そのために勉強していきたいです。

女性の看護師の方が良かったと言われることもありますが、男性で良かったと言われることもあり、嬉しいと思ったと話す4人。将来、「あなたで良かった。」と言われる看護師になっている姿が待ち遠しいと思える、さわやかで熱心な准看護学院のみなさんでした。

人生を豊かにする!!

~キーワードはワーク・ライフ・バランス~

「ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)」とは、老若男女誰もが、仕事、家庭生活、地域生活、個人の自己啓発など、様々な活動について、自らの希望に沿った形でバランスをとりながら展開できる状態です。

男女共同参画会議「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)に関する専門調査会」より

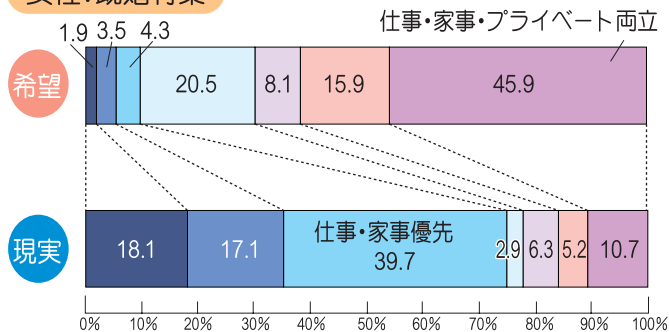


ワーク・ライフ・バランスの希望と現実

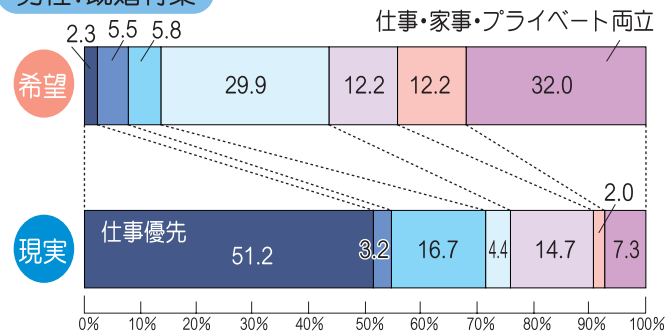
仕事・家事・プライベート何を優先させたいですか？

■仕事優先 ■家事優先 ■仕事と家事優先
 □プライベートな時間優先 □仕事とプライベート優先
 ■家事とプライベート優先 ■仕事・家事・プライベートを両立

女性:既婚有業



男性:既婚有業



「仕事・家事・プライベートを両立」することを希望する人が男女ともに多いですが、現実には女性が「仕事と家事優先」、男性は「仕事優先」が多くなっています。

2006年1月:「少子化と男女共同参画に関する意識調査」少子化と男女共同参画に関する専門調査会より

なぜ、今、ワーク・ライフ・バランスなの？

少子高齢化・人口減少時代を迎え、これまでの働き方では、個人、企業・組織、そして社会全体が持続可能でなくなります。社会の生産性を維持していくためにも、女性や高齢者など多様な人材を活用することが重要です。そのためには、ライフスタイルにあった働き方ができるよう、勤務時間を短くしたり、個々に設定できるように企業や社会全体での取り組みが必要です。また、仕事(ワーク)と生活(ライフ)のバランスをとることは、社会全体の活力や生活の質を高めることにもつながります。

私たちにできることは…。

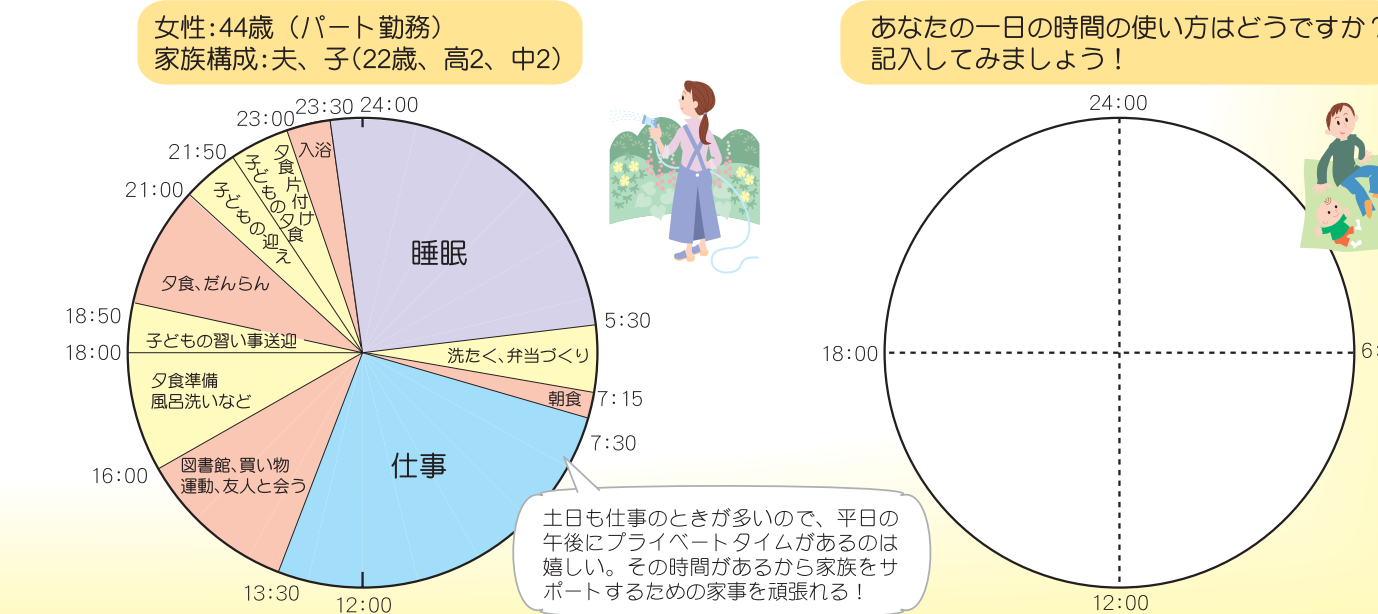
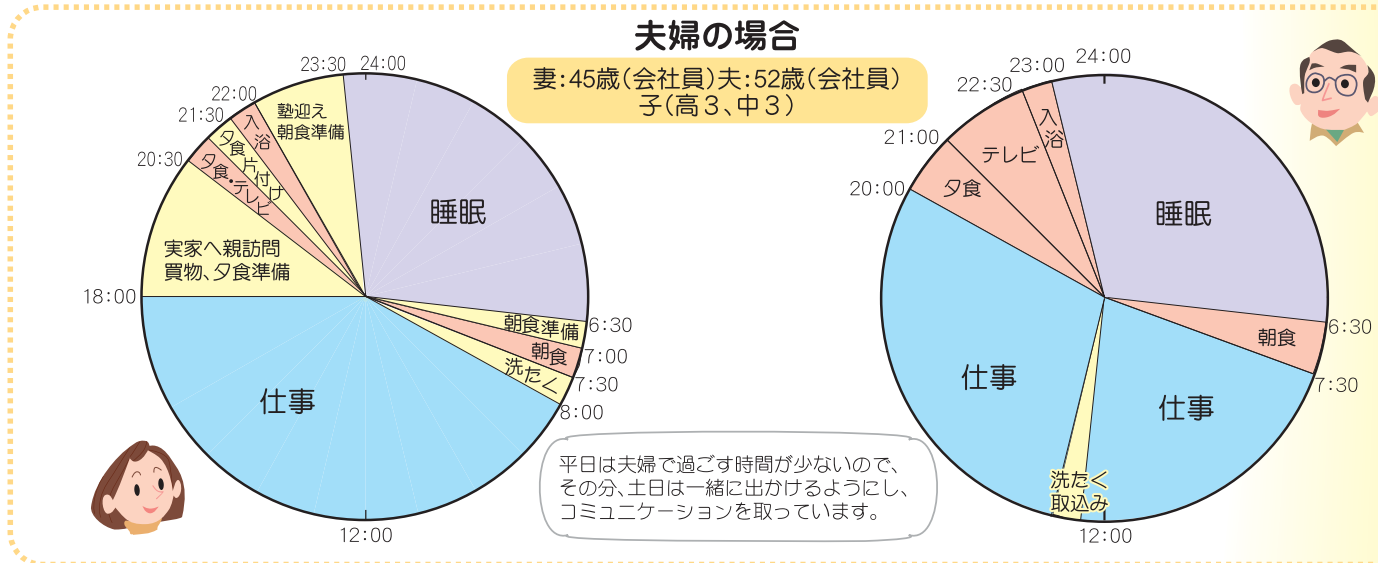
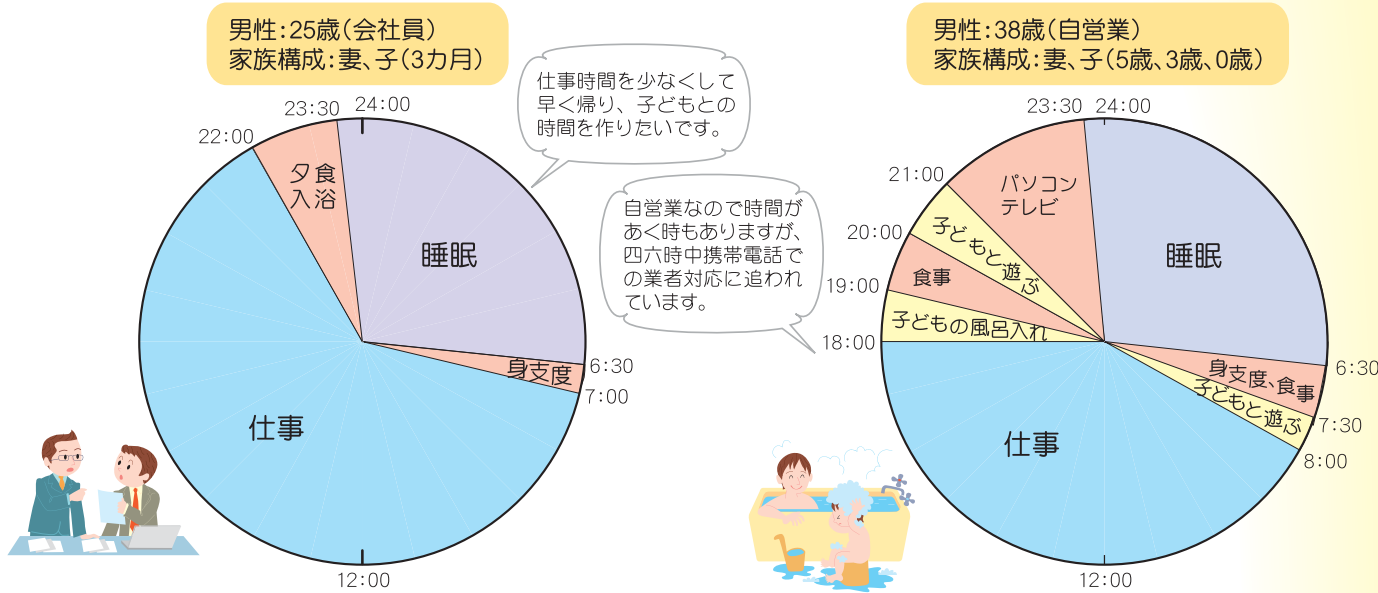
個々の時間の使い方にも工夫が必要です。少ししか時間が取れないが、昼休みを利用して運動する、毎日子どもと関わる、家庭での時間を作るなど、時間を有効活用したり、「量」だけでなく「質」も考えて暮らしたいものです。

仕事は、暮らしを支え、生きがいや喜びをもたらします。同時に、家事・育児、近隣との付き合いなどの生活も暮らしには欠かすことが出来ないものです。そしてその充実があってこそ、人生の生きがいや喜びは倍増します。年代によって変わるライフスタイルや希望にあわせて、バランスを取っていくことが大切です。

今回は、「働く人の仕事と生活」に焦点をあてて特集しました。

年代や仕事などによって、いろいろなライフスタイルがあります。那須塩原市在住の5人の男女に平日の生活時間を聞きました。

■……仕事
 ■……プライベート
 ■……家事・育児



栃木県 次世代人材づくり事業 ～中国を訪ねて～

県では、国際的視野を持ち、地域で活躍する女性リーダー及び青年リーダー育成のため、海外研修をしています。

- 11月
26日 日本出発
視察研修(上海市)
27日 上海市内企業研修
・(株)創研
28日～30日 (杭州市)
28日にホームステイ
・杭州市児童福利院
・浙江越劇団
・杭州三替服務集团有限公司
・トーアテック(株)
・中国青年・女性との交流会
12月1日 日本帰国



今回の研修先は、5泊6日で中国の上海市と浙江省杭州市でした。
浙江省は、栃木県と友好交流があります。今回は中国に進出した日本企業や、地元で起業し政治家になった女性社長、公営の越劇団では役柄の衣装体験もしました。



豊田陽子さん(方京)

夫婦別姓については、以前は女の子は母方の姓を選んでいました。現在は、一人っ子政策のため大体は父方の姓を名乗るようです。しかし、どちらを選ぶかは自由です。産休、育休のための法律や保険も整っています。家庭内の家事分担も平等です。教育への関心が高く、また住宅取得意識も強く地価が高騰しています。その一方で私たち(観光客)に集まってくる物乞いも多く、格差を感じました。

素顔の中国

中国は夫婦別姓、男女平等、同一賃金、一人っ子政策を取っています。



衣装体験の様子

熱烈歓迎

ホームステイ先の葉さんは日本語教師で、ご主人は高校の先生です。お嬢さんは大学4年生で4月から大阪の大学に留学予定です。夕食の献立は鍋料理で、支度をしたのは日本語の話せないご主人でした。男性が料理することに慣れない私は少し戸惑いました。休日はみんなで掃除をするそうです。



ホームステイ先の葉さんと娘の夏芸さん

今回中国を訪問し、異なった環境・文化・慣習の中で、人と人が交流を深めていくには、よく話し合い、お互いの立場を理解する事が大切だと学びました。「男女共同参画」も同じだと思いました。

研修のパネルを展示します。3/21(金)～4/4(金) 市役所ロビー

男女共同参画広報紙「みいな」 市民編集委員募集!!

「みいな」に載せる記事の取材や構成などを行います。

あなたも、編集委員になってみませんか?

編集委員期間

平成20年4月～平成21年3月まで(1年間)

募集締切

4月4日(金)

問い合わせ先

那須塩原市役所 生活環境部生活課 ☎0287-62-7126



編集後記

初めて聞く言葉、輝いている人との初めての出会い、そして初めて取材した場所、みどり多い一年が終わろうとしています。私自身が一回り大きくなりました。もちろん体重も(笑)。簡単な事柄が理解できずに、質問ばかり繰り返す私に根気強くお付き合い下さった仲間に感謝します。そして、一年間「みいな」をご覧頂いたみなさん、ありがとうございました。

編集員

- 伊吹 桂子
左近 剛
手塚 祐子
豊田 杉山
陽子 富美
満子